

令和6年度の市民参画協働推進事業の主な取り組みと 令和7年度の市民参画協働推進事業の主な取り組み予定

令和6年度の主な取り組み

市民参画協働推進本部

市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）

市民と行政との協働によるまちづくりを考え、「長岡京市オリジナルの協働の形」を探るために立ち上げられた若手ワーキングチームです。今年度で16年目となっています。

総務課や図書館、地域福祉連携室などさまざまな部署から若手職員11名が参加しています。

➤ 市民参画協働研修会の企画立案

⇒毎年度、職員向けの市民参画協働研修を開催しており、令和6年度は1、2年目の職員を対象に実施予定。

⇒研修内容は「営利と非営利について」「協働とはなにか」など、基礎的な内容の講義と、庁内での横断的な協働をすすめる第一歩として、企画会議を学ぶグループワークを行う。

➤ ファシリテーション講座の実施

⇒効果的な会議を実施するためのファシリテーターの重要性や手法を学ぶ講座を実施。

ワーキングメンバー＋庁内職員＋事務局 9名が参加

➤ NPO ゲーム研修会の実施

⇒NPO 法人テダスが10年間で経験した実話をもとに作成した、団体の成長過程を学べるボードゲーム「NPO ゲーム」の体験会を実施。

ワーキングメンバー＋庁内職員＋事務局 11名が参加

➤ 京田辺市との交流会（合同ワークショップ）の実施

⇒NPO 法人テダスの高橋氏のファシリテーション講座を受講中の京田辺市職員と長岡京市ワーキングメンバーが合同ワークショップを行い、お互いの市のポジティブな取り組みなど情報を共有した。

長岡京市4名 京田辺市8名が参加

みんなの未来をつくるまち活補助金

長岡京市における市民参画と協働のまちづくりを推進するため、市内で営利を目的とせず、市民が自主的かつ自立的に行う公益的な事業に対して、補助金を交付しています。

補助金交付状況（令和7年2月1日現在）

種 類	申 請 数	採 択 数	交 付 予 定 金 額	備 考
はなさくコース （最大30万円補助）	4	4	615,000円	
たねまくコース （立ち上げ3年以下の団体の事業が対象。最大10万円補助）	10	9	589,000円	
小学校区コミュニティ活動応援コース	1	1	60,000円	地域コミュニティ協議会設置校区は除く
合 計	15	14	1,264,000円	

- 令和6年度採択事業の例 ⇒ 創作活動による交流の場づくり、子どもと大人が絵本や工作を通してふれあえる場づくり、市民ライター等の情報発信者育成 ほか
- 小学校区コミュニティ活動応援コースでは、地域コミュニティ協議会未設立地域である「神足小学校区」の校区まつりに対し補助金を交付。

活動発表交流会

市民活動サポートセンターとの共催で、みんなの未来をつくるまち活補助金交付団体による活動発表交流会を開催予定。

- 令和7年3月23日（日）市役所4階会議室 401・402 にて開催予定。
- 令和7年度補助金の説明と、活動発表を通して交流会を行う。

市民活動サポートセンター

市民や非営利市民活動団体の社会貢献活動に対する支援を行うため、長岡京市立総合交流センター（バンピオ1番館）1階に市民活動サポートセンターを設置しています。その管理運営については、指定管理者制度を導入しており、「一般社団法人市民活動ネット・チーム長岡京」が運営しています。

主な事業

- 補助金申請や市民活動の相談受付
- メルマガやHP、SNSを活用したサポセン登録団体の活動情報発信
- ミーティングスペースの貸し出し
- 月次モニタリングの実施
- 「サポセンの未来を考える会」を立ち上げ、サポセンの未来図について検討

市民活動オフィスフロア

「単独で事務所を持ちたいけど、費用が高くて借りることができない」などの悩みを持つNPO法人や市民活動団体、ボランティアグループなど、公益的な事業を行う市民活動団体の事務所機能を提供するため、長岡京こらさ（多世代交流ふれあいセンター）2階に「市民活動オフィスフロア」を開設しています。有料で事務所機能や、他団体との情報交換の場や、活動の横への広がりを図る交流の場としてご利用いただいています。

- 令和6年度は10ブース中5団体6ブースが利用中。

地域コミュニティ活性化事業

地域コミュニティ協議会は、小学校区ごとに設立されている住民自治組織です。自治会やPTA、少年補導委員や民生児童委員、総合型地域スポーツクラブなど小学校区内のさまざまな団体や個人が横につながり、フラットな形で情報交換や協力をしていくことによって、地域コミュニティの活性化を促すことを目的として設立されています。

現在、長岡京市内で神足小学校区を除く9小学校区において地域コミュニティ協議会が設立され、地域活性化のためのさまざまな事業を各種団体と協力しながら実施しています。市では各コミュニティ協議会に事業実施のための補助金を交付し、設立後間もない協議会については、事務局を支援するための地域コーディネーターを配置しています。

- 市内全十小学校区対象に防災関連施策及び補助金に係る情報共有会の開催。
- 10月最終日曜日の長岡京市防災の日に、避難所運営訓練を市内全十小学校で開催予定であったが、令和6年度は衆議院議員選挙の投開票日と重なったため中止。一部校区では独自に実施。
- 神足小学校区地域コミュニティ協議会設立に向けた意見交換会を実施。
- 令和7年度からの補助金制度を見直し。

長法寺小学校区

コミュニティニュースの発行、らくしんまつり、避難所 HUG、地域パトロール、学校環境整備、年末パトロール など

長岡第三小学校区

コミュニティニュースの発行、ながさんひろば、校区内防犯パトロール、校内清掃 など

長岡第四小学校区

コミュニティニュースの発行、夏まつり、避難所運営勉強会、校区内防犯パトロール、小学生ドッジボール大会、おもちゃ修理勉強会 など

長岡五小学校区

コミュニティニュースの発行、友好祭、竹林再生ボランティア事業（タケノコ掘り、草刈りなど）、防犯パトロール、学校一斉清掃除草作業、校区総合防災訓練（コミュニティ協議会役員及び各地域自主防災役員のみで実施）、高齢者搜索訓練、コミュニティ自転車教室 など

長岡六小学校区

コミュニティニュースの発行、ながろくまつり、校区パトロール、グラウンド整備、除草作業、体育館清掃 など

長岡第七小学校区

コミュニティニュースの発行、みんなのつどい、小畑川クリーン作戦、校区内夜間防犯パトロール、みそづくり、体育館清掃、ビオトープ整備作業 など

長岡第八小学校区

コミュニティニュースの発行、友好祭、小畑川クリーン作戦、長ハクリーン作戦、八小文化まつり作品展（台風接近により中止）、少年補導パトロール など

長岡第九小学校区

コミュニティニュースの発行、ふるさと祭り、小畑川クリーン作戦、校区安全パトロール、交通安全教室、平安騎馬隊騎乗体験、見守りタイ活動、文化教室 など

長岡第十小学校区

コミュニティニュースの発行、長十フェスティバル、かまどベンチ使用体験、トランポリン体験、学校清掃協力、校区パトロール など

まち活 MTG の開催

令和5年1月1日に施行された「助け合いとつながりのまちづくり条例」に規定している「多様な市民が考える場」として、無作為抽出の方式及び公募により参加者を募り、自分が住んでいる街を良くするために、「自分で」何ができるかを考える会です。自治会活動や地域活動に不慣れな人で、でも地域のために何かしたいという人に向けて「自分でまちのための活動をする」ための練習をおこなうことを目的としています。1年目である令和5年度は講座やワークショップにより楽しい会議や企画づくりの手法を学び、テーマごとにチームを作りプレゼンを行いました。

2年目である令和6年度では、1年目を経て活動を始めた方や、始めようとされている方に向け、主に活動相談や悩みなどを話し合える場所として交流会形式で毎月開催しました。

➤ 令和6年度は全9回開催（11月、1月は休み）

	日 時	内 容
第1回	4月21日（日）	講座 補助金申請書の書き方講座
第2回	5月19日（日）	交流会、活動相談
第3回	6月16日（日）	交流会、活動相談
第4回	7月21日（日）	交流会、活動相談
第5回	8月18日（日）	講座 団体向け複式簿記講座
第6回	9月15日（日）	交流会、活動相談
第7回	10月20日（日）	交流会、活動相談
第8回	12月15日（日）	交流会、活動相談
第9回	2月16日（日）	交流会、活動相談

パブリックコメント制度の運用

意見公募（パブリックコメント・パブコメ）手続制度とは、市が計画やプラン、条例など基本的な政策を立案する過程で、その趣旨・目的・内容等を市民に公表して意見を求め、提出された意見を踏まえて意思決定をするとともに、意見に対する市の考え方を公表する一連の手続きのことです。原則、市内に在住・在勤・在学している人が意見を提出することができます。

令和6年度は下記の通り4案件について意見公募が行われました。

案 件 名	ご 意 見 提 出 数
長岡京市上下水道ビジョン（経営戦略）中間見直し（案）	30件（12名）
第2期長岡京市スポーツ推進計画（案）	ご意見整理中

長岡京市こども計画及び第3期子ども・子育て支援事業計画（案）	ご意見整理中
深田保育所改築基本構想（案）	ご意見募集期間 令和7年2月～3月

立命館高等学校との協働

立命館高等学校との協働事業で、1年生の総合学習の授業の一環として、長岡京市内の様々な課題の解決に向けた考察を行っており、課題の提供、また課題に関する情報提供、授業の訪問、発表への講評などで協力をしています。

令和6年度は、従来行っていた市が課題テーマを提示し、生徒が解決方法を考える形から、生徒が自由にテーマを考え発表する形に変更しました。

発表は12月13日に8クラスが各教室にブースを設け、班ごとに行われました。市からはテーマに関係する課が出席し質疑応答等を行いました。

市民公募委員の登用推進、名簿作成

市民のみなさんからできるだけ幅広い意見を伺い、市政に反映していくため、市では審議会、懇話会などで市民公募委員を採用したり、市民ワークショップを開催したりしています。

その際、一般公募を行います。事前に市内在住の18歳以上の方から無作為に抽出した500人に「候補者名簿」への登録をお願いしています。必要に応じて、その名簿の中から市民公募委員の就任やワークショップの参加をお願いしています。

① 審議会などの公募委員候補者名簿

審議会などの委員改選時や欠員が生じた際に、公募委員の就任を依頼します。

名簿に登録される期間は2年間です。

② ワークショップなどの参加候補者名簿

ワークショップなど市政への意見交換の場が開催される際、参加案内を送付します。

名簿に登録される期間は4年間です。

令和6年2月1日作成名簿の利用状況（結果報告）

名簿利用期間 令和6年2月1日～令和8年1月31日

登録人数 「審議会などの公募委員候補者名簿」 21名

「ワークショップなどの参加候補者名簿」 45名

令和6年度に審議会などの公募委員候補者名簿から就任した人数 6名

ワークショップなどの参加候補者名簿を利用したワークショップ 0件

Voice NAGAOKAKYO の実証実験

令和6年11月よりオンラインプラットフォーム「Voice NAGAOKAKYO」の実証実験を開始
(実証実験期間は令和8年3月末まで)

市民ワークショップとの併用、オンライン上での意見募集等に利用

現在の利用例

- オンライン対話のわ（対話のわで出た市長と市民のやりとりを投稿し、オンライン上でコメントやいいねを付けることが可能）
- パブコメとしての運用（通常のパブコメと併用し、オンラインで意見募集）

令和7年度の主な取り組み予定

市民参画協働推進本部

政策研究会（協働ワーキング）

職員研修

庁内連携推進に向けた取り組みの検討・実施

市民活動サポートセンターの管理運営

運営を指定管理者制度から市直営に変更

相談業務等、専門的知識を必要とする一部業務に関しては民間委託を行う

地域コミュニティ活性化

既存協議会（9校区）への支援

地域住民による自主運営に切り替えていけるように働きかけ（長六小校区）

未設立校区（神足小校区）への設立働きかけ

テーマ型市民活動団体との連携

みんなの未来をつくるまち活補助金制度の運用

審査会の開催

補助金の採択団体決定・交付

活動発表交流会の実施

まち活 MTG の開催

令和7～8年度新メンバーを公募＆無作為抽出で募集

その他

市民活動オフィスフロアの運営

パブリックコメント制度の運用

ワークショップ・審議会等の市民参画登録制度“さんかく”の運用